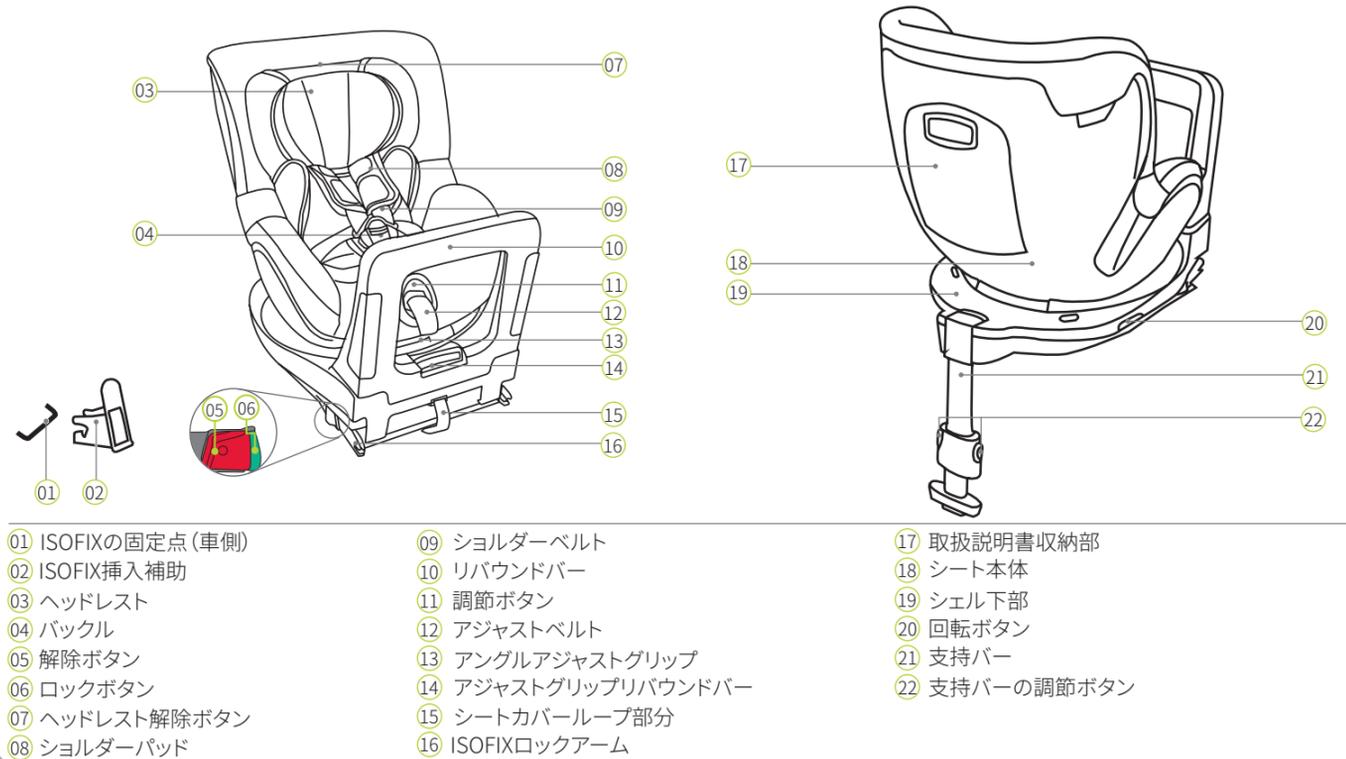


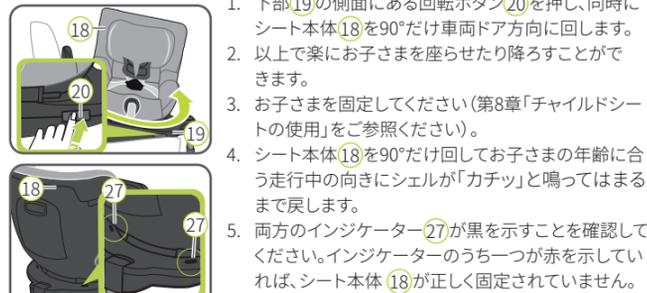
1.製品概要

弊社のDUALFIX i-SIZEをお子さまの新たな人生の一時期にご利用して頂くことに感謝申し上げます。お子さまを正しく保護するために、DUALFIX i-SIZEをこの説明書に説明されている通りにご使用ください。



- 01 ISOFIXの固定点(車側)
- 02 ISOFIX挿入補助
- 03 ヘッドレスト
- 04 バックル
- 05 解除ボタン
- 06 ロックボタン
- 07 ヘッドレスト解除ボタン
- 08 ショルダーパッド
- 09 ショルダーベルト
- 10 リバウンドバー
- 11 調節ボタン
- 12 アジャストベルト
- 13 アンクルアジャストグリップ
- 14 アジャストグリップリバウンドバー
- 15 シートカバーループ部分
- 16 ISOFIXロックアーム
- 17 取扱説明書収納部
- 18 シート本体
- 19 シェル下部
- 20 回転ボタン
- 21 支持バー
- 22 支持バーの調節ボタン

4.乗降機能



注意: 毎回運転前に必ず、シート本体(18)が完全に固定され、両方のインジケーターが黒を示すことを確認してください。

5.お手入れとメンテナンス

クリーニング
Audi純正シートカバーのみご使用ください。シートカバーはチャイルドシートの主要部品であってシステムの完璧な機能のために重要な機能します。交換用シートカバーは、お近くの代理店で入手できます。

- シートカバーは取り外して、マイルドな洗剤で洗濯機のデリケートプログラム(30°C)で洗浄してください。シートカバーに付いて洗濯タグの注意に従ってください。
- ベビークッションはシートカバーと同様に洗濯可能です。洗濯前に上部と下部からフォーム材を全て取り外してください。ただし、これらを一緒に洗うことはできません。
- ショルダーパッドは取り外して温かい石鹸水で洗えます。
- プラスチック部品とベルトは石鹸水で洗えます。(溶剤など) 刺激の強い洗浄液を使用しないでください。

バックルのお手入れ
お子さまの安全の前提条件はバックル(04)が正常に機能することです。バックルの機能障害(04)があれば通常は挿入ガイド部やフックにたまった汚れや異物が原因です。

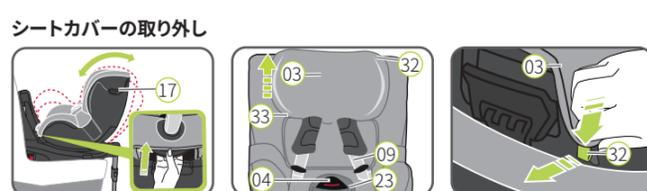
- エクステンション(29)は赤いアンロックボタンを押すとゆっくりと出て来ようになります。

- エクステンション(29)が掛からなくなった(バックルに掛けようとしても出てきてしまう)。
- エクステンション(29)が「カチッ」と音がしてはまらなくなる。
- エクステンション(29)をなかなかバックルにはめられなくなる(抵抗を感じる)。
- バックル(04)がかなり力を入れないと開かなくなる。

対策: 正常に機能するようになるためにバックル(04)をお掃除してください。



- バックルのクリーニング**
- 下記「シートカバーの取り外し」の説明に従いシートカバーをシート表面から取り外してください。
 - クロッチベルトをバックル(04)をシート本体(18)に保持している金属板(24)ごと90°の角度でロングスロットの中に押しします。
 - 金属板(24)の狭いエッジ側を前にしてベルトスロット(25)に押し入れします。
 - バックル(04)を少なくとも一時間は食用洗剤を溶かしたぬるま湯に浸けてください。よくすすぎ洗してから乾かします。
 - 金属板(24)を前から完全にロングスロットに押し入れします。
 - シート本体(18)のベルトスロット(25)に前向きとは斜めに嵌るまで、クロッチベルトを金属板(24)ごと90°だけ回します。
- 危険!** バックル(04)を力強く引き、シート本体(17)が確実に固定されたことを確認してください。
- バックル(04)をシートカバーのクロッチパッド(23)amに通し、ベルクロベルトとシートカバーを元に固定します。



2.認可

この説明書では次の記号を使用します。

記号	シグナルワード	説明
⚠	危険!	重傷を負う危険
⚠	警告!	軽傷を負う危険
⚠	注意!	物損の危険
ℹ	ヒント!	有用なアドバイス

DUALFIX i-SIZEは車内でお子さまの固定専用にご使用ください。

チャイルドシート	試験と認可 ECE* R 129/01準拠	
	身長	体重
DUALFIX i-SIZE	40~105 cm	≤ 18 kg

*ECE = 安全装備の欧州規格

チャイルドシートは、子供の安全装置に関する欧州規格(ECE R 129/01)に従って設計、試験、認可されています。試験合格マーク「E」(円の中)と認可番号はオレンジ色の認可ラベルに記載されています(チャイルドシートのラベル)。

危険! チャイルドシートに変更を加えると、認可が消滅します。変更は、製造元だけが行うことが許されています。無断で技術的変更を加えるとシートの保護機能が削減したり全く機能しなくなる場合があります。チャイルドシートに技術的変更を加えないでください。

危険! DUALFIX i-SIZEは車内でお子さまの固定専用にご使用ください。この製品は家の中での着座用やおもちゃとして全く適合していません。

3.車内での使用

お車の取扱説明書に含まれるチャイルドリテーナーシステムの使用説明に従ってください。エアバッグにより使用時の制約が少々あることにもご注意ください。

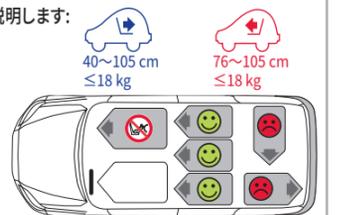
お車の取扱説明書にあるチャイルドリテーナーシステムの使用がECE R16に従って認可されている車両シートの情報をご参照ください。

DUALFIX i-SIZEの可能な使用法:

チャイルドシート	車両での着座位置 ISOFIXと	
	i-Size	i-Size無し
DUALFIX i-SIZE	✓	✓ 車種一覧を参照

チャイルドシートの認められている使い方をご説明します:

前向き	可 ¹⁾
後ろ向きに	可 ¹⁾
2点または3点シートベルトと	不可
シートの装備: ISOFIX固定	可 ²⁾



(お使いの国で適用されている規則に従ってください)

- 前向き 76~105 cm / 後ろ向き 40~105 cm
- 前向き 76~105 cm: 助手席のエアバッグがある場合: 助手席を後ろいっぱい押し、お車の取扱説明書にある説明に従ってください。後ろ向き 40~105 cm: フロントエアバッグが有効になっている助手席で使用することはできません!

お問い合わせ先:

利用についてその他ご質問があれば弊社にお問い合わせください:

AUDI AG
85045 Ingolstadt
www.audi.com

40~105 cm
≤ 18 kg



チャイルドシート DUALFIX i-SIZE

取扱説明書

JP



6.安全注意事項

△この説明書をよくお読みいただくようお願いを確保してチャイルドシートにある説明書収納部(17)に後からいつでも参照できるように保管しておきましょう!チャイルドシートを譲渡するときは説明書もチャイルドシートに添付してください。DUALFIX i-SIZEでお子さまが正しく保護されるために、必ずこの説明書の説明に従って取り付け、ご使用ください。場合によっては、チャイルドシートの設定しだいで「i-Size」の車両シート位置での使用が制約されることがあります。

△危険!お子さまの保護のため:

- 衝突速度が時速10kmを超える事故が発生した場合、損傷が見えなくてもチャイルドシートが破損している可能性があります。この場合はチャイルドシートを交換してください。規則に従って廃棄処分してください。
- 損傷があれば(地面に落ちた場合など)基本的にチャイルドシートの検査を依頼してください。
- 全ての重要な部品の損傷を定期点検してください。機械的部品が完璧に機能する状態であることを確認してください。
- チャイルドシートの部品を潤滑も注油もしないでください。
- お子さまは、絶対に一人でチャイルドシートに乗せたまま車両内に残さないで下さい。
- お子さまを歩道側からのみ車両に乗降させてください。
- チャイルドシートを使用しない時は強い直射日光から保護して下さい。チャイルドシートは直射日光の下では非常に熱くなります。子供の皮膚は敏感なため加熱した部品で怪我をする可能性があります。
- ベルトがお子さまの体に近接しているほど、保護効果が高まります。このためお子さまに分厚い服を着せたままではベルトを掛けしないでください。
- 長時間のドライブの際は定期的に休憩してお子さまが外ではしゃぎ回ったり遊ぶ機会を作ってください。
- リアシートでのご使用に関して: 前席を前へ十分に押し出し、お子さまの両足が前席の背もたれに当たらないようにしてください(怪我する危険の防止)。

△危険!車の全乗員の保護のため:

- 急ブレーキまたは事故の際に、固定していない物体と人が他の乗客にけがをさせることがあります。このため次の点に常時ご注意ください:
- この説明書に説明されておりチャイルドシートにマーキングがあるもの以外の荷重支持点を使用しない。
- 背もたれが車両の座席に固定されていること(後ろにフラップ可能なリアシートベンチを嵌めるなど)。
- 車内の全ての重いまたは尖った物体を固定して下さい(例えばパーセルシェルフの上に)。
- 全乗員がシートベルトを着用していることを確認して下さい。
- チャイルドシートは子供を運ばないときでも車内に固定されていること。
- △警告!チャイルドシートの取扱いの際に保護するため:
- チャイルドシートは試しに座る時も含めて、固定せずには絶対に使用しないで下さい。
- 損傷を防止するため、チャイルドシートが硬い物(車両ドア、座席のレールなど)に挟まらないようにご注意ください。
- チャイルドシートは使用しないときは安全な場所に保管してください。重い物をチャイルドシートの上に置かず、チャイルドシートを熱源や直射日光に当てないように保管してください。
- △注意!お車の保護のため:
- 特定の、損傷しやすい材料製の車両シートカバー(ベロアや皮革など)は、チャイルドシートを使用すると摩擦の跡が残る場合があります。車両シートカバーを最適に保護するため、アクセサリー製品の中からBRITAX RÖMERのチャイルドシート用カーペットのご使用をお勧めします。

7.準備



1.標準仕様でISOFIX挿入ガイド部のないお車の場合、シートに同梱の*二つの挿入ガイド部(02)をともに上向きのカットアウトを使いお車の二つのISOFIX固定点(01)にクランプして固定してください。

① ヒント! ISOFIX固定点は車両座席のシート表面と背もたれの間にあります。

2.車両座席のヘッドレストをいちばん高い位置にします。

*挿入ガイド部でISOFIX固定点を利用してチャイルドシートを取り付け易くなり、車両シートカバーを損傷させません。このガイドを使用しない限り、安全な場所に保管してください。倒せる背もたれのある車両の場合背もたれを倒す前に挿入ガイド部を取り外す必要があります。何らかの問題があれば通常は挿入ガイド部やフックにたまった汚れや異物が原因です。このような問題を解決するには汚れや異物を取り除いてください。

8.チャイルドシートの取り付け



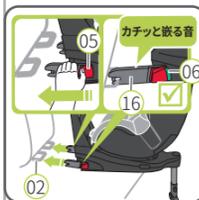
1.リバウンドバーの調整

- 1.1 チャイルドシートを後ろ向きに使用が認可された車両の座席に置いてください。
- 1.2 リバウンドバー(10)のアジャストグリップ(14)を片手で押さえたまま、別の手でリバウンドバー(10)をロック解除されるまで引き上げてください。
- 1.3 リバウンドバー(10)の角度をお車の座席背もたれのシートアングルに合わせ、リバウンドバー(10)が「カチッ」と聞こえてはまるように調整してください。



2.ISOFIXの準備

- 2.1 グレーのテキスタイルループ(15)をISOFIXロックアーム(16)が完全に出るまで引きます。
- 2.2 シートの両側にある緑の固定ボタン(06)と赤の解除ボタン(05)を相互に押し付けます。これでISOFIXロックアーム(16)の両側のフックが開き、使用準備が整います。



3.ISOFIXの固定

- 3.1 両方のISOFIXロックアーム(16)を両方の挿入ガイド部(02)の直前に位置決めします。
- 3.2 ISOFIXロックアーム(16)が両側とも「カチッ」と音がして嵌るまで、両方のISOFIXロックアーム(16)を挿入ガイド部(02)に挿入します。
△危険!チャイルドシートが正しく固定されるように、緑の固定ボタン(06)は両側とも見えていなければなりません。



4.チャイルドシートをしっかりと押さえ付けます

チャイルドシートをできる限り車両の背もたれに対して押し当てます。



5.固定状態を確認してください

チャイルドシートを揺さぶり、確実に固定されていることを確認し、固定ボタン(06)を再確認して両方とも緑に全て変わったことを確認してください。



6.支持バーの設置

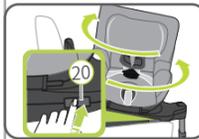
- 6.1 支持バー(21)チャイルドシートの背面から「カチッ」とはまる音がするまで引き、支持バー(21)を完全に伸ばします。赤のマークが見えなくなっていなければなりません。
- 6.2 両方の調節ボタン(22)を押し、支持バー(21)を車両のフロアに確実に当たるまで引きます。支持バー(21)のインジケーターが緑だけを表示し、両側の調節ボタン(22)が「カチッ」と音を立てて嵌らなければなりません。
△危険!支持バー(21)がフロアから浮いてはならず、また物の下になってもいけません。支持バーが21 DUALFIX i-SIZEの下部を(19)自動車シートの着座面から浮かさないことにご注意ください。



9.進行方向の反転

DUALFIX i-SIZEで可能なこと:

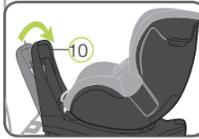
- 1.40~105 cm (≦18 kg) の範囲であれば後ろ向きで使用できます。
- 2.15ヶ月以上: 76~105 cm (≦18 kg) の範囲であれば前向きで使用できます。



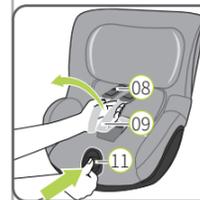
走行中のシートの向きを逆にするには回転ボタン(20)を押し、シートをご希望の向きにはまるまで回してください。前向きで使用する場合リバウンドバー(10)は鉛直に立った姿勢でなければなりません。

△危険!毎回運転を始める前に、チャイルドシートを両方の方向に回してみてもチャイルドシートの回転部品が正しくはまっていることを必ず確認してください。

△危険!76 cm / 15ヶ月より小さいお子さまの場合、チャイルドシートを前向きに使用しないでください。

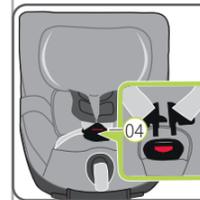


10.チャイルドシートの使用



1.ショルダーベルトを緩める

ショルダーベルトを緩めるにはベルト調節ボタン(11)を押し、同時に両方のショルダーベルト(09)を前へ引きます。
△注意!ショルダーパッド(08)は引っ張らないでください。



2.バックルを開く

バックル(04)を開くにはバックルの赤いボタンを押します。



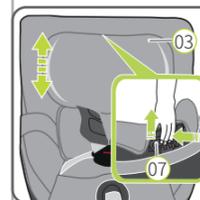
3.子供をチャイルドシートに座らせる

お子さまをチャイルドシートに乗せてください。バックル(04)が前に返っていることに注意して、お子さまをチャイルドシートに乗せます。
△危険!フロントエアバッグが無効なときは、助手席にはチャイルドシートを後ろ向きでのみご使用ください。



4.ショルダーベルトを掛ける

ショルダーベルト(09)をお子さまの肩に掛けます。
△注意!ショルダーベルト(09)がねじれていたり入れ違えないようにしてください。



5.ヘッドレストの調整

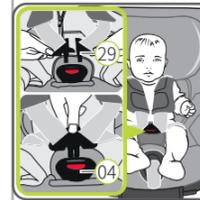
ヘッドレスト(03)が正しく設定されていればチャイルドシートでお子さまが最適に保護されます:

ヘッドレスト(03)はショルダーベルト(09)がお子さまの肩の高さかそれよりも少し上めにあるように調整します。

- ▶ショルダーベルト(09)は水平になるかお子さまの肩のじゃっかん上になるように調整します。
- ▶ショルダーベルト(09)はお子さまの背中や耳の高さまたはそれより高くならないようにしてください。

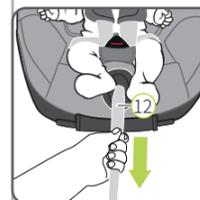
ヘッドレストの調整用:

- 5.1 ハーネスを緩めます(8.1)
- 5.2 ヘッドレスト(03)の解除ボタン(07)を押したままヘッドレスト(03)を正ししいショルダーベルトの高さまで押ししてください。
- 5.3 ヘッドレスト(03)を少し押し下げてみてヘッドレスト(03)が正しくはまっていることを確認してください。



6.バックルを閉じる

両方のエクステンダー(29)をいっしょに差し込み、これらを「カチッ」とはまる音がするまでバックル(04)にはめます。



7.アジャストベルトを張る

ベルトが平らになりお子さまの体に近接するまでアジャストベルト(12)を引いてください。

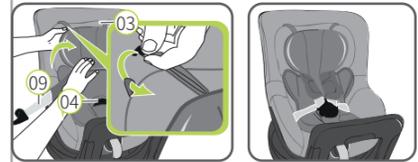
△警告!ウエストベルトはお子さまの股の上へできる限り深く渡っていないければなりません。

△運転する前に以下を点検しお子さまの安全な状態を必ず確認してください:

- チャイルドシートが両側からISOFIXロックアーム(16)でISOFIX固定点(01)に固定されており、両方のISOFIXインジケーター(06)が完全に緑になっていること
- チャイルドシートが確実に固定されていること
- 支持バー(21)は車両フロアに確実に立っており、支持バー(21)のインジケーターが緑であること

- 回転式シート本体(18)は完全にはまっており、両方のインジケーターは黒を示していること。
- チャイルドシートのベルトがお子さまの体を締付けすぎずに近接して掛かっていること
- ショルダーベルト(09)が正しく設定されており、ベルトがよじれていないこと
- ショルダーパッド(08)がお子さまの体の正しい位置になっていること
- チャイルドシートを助手席で後ろ向きに乗せるときはフロントエアバッグが無効であること。
- チャイルドシートがお子さまの年齢/身長のために合った走行時の向きであること。
- エクステンション(29)がバックル(04)に嵌っていること。
- △注意!お子さまがISOFIXロック解除ボタン(05)やバックル(04)を開けようとすれば、可能な限りすぐに止めさせてください。チャイルドシートが正しく固定されているかを確認してお子さまが正しく固定されていることを確認してください。お子さまには自分の行いにもなる危険について説明してください。

11.ベビークッションの使用



ベビークッションは身長60 cmまでのみご使用になれます。ベビークッションをチャイルドシートに敷き、両方のショルダーベルト(09)をベビークッションに掛けます。両側のプラスチックフックをヘッドレスト(03)のカバーにあるループに引っ掛けます。バックル(04)とクロッチパッドをベビークッションの下部にある開口部を通します。
△注意!お子さまが正しく固定されていることを確認してください。

12.着座アングルの調整

DUALFIX i-SIZEのシート本体は前向きと後ろ向きとも6段階の傾斜アングルでご使用になれます。



着座アングルの調整方法:
アジャストグリップ(13)を前へ引き、シート本体(18)をご希望の位置まで引くか押します。
△危険!シート本体(18)はどの位置であっても「カチッ」とはまる音がして固定されなければなりません。嵌っていることを確認するにはシート本体(18)を引いてください。

13.チャイルドシートの取り外し

- 1.支持バーの両方の調節ボタン(22)を押し、支持バー下部を完全に引っ込むまで上部に押しします。調節ボタンから手を放すと、支持バーは引っ込んだ位置に固定されます。
- 2.緑の固定ボタン(06)と赤の解除ボタン(05)を相互に押し付けてISOFIX固定を両方とも緩めます。
- 3.ISOFIXロックアーム(16)をシート本体(18)の中に押し戻します。
① ヒント!シート下部に再度押し入れるとISOFIXロックアームは損傷を受けません。
△危険!子供が乗らないときでも、車内でチャイルドシートを常時固定してください。

14.廃棄処分

国内の廃棄処分規則に従ってください。

梱包の廃棄処分	段ボール用容器
シートカバー	他のごみ、熟処理による再利用
プラスチック部品	対応する容器内のマーキングに対応する
金属部品	金属用容器
ウェビング	ポリエステル用容器
ロックとラッチ	残骸ごみ